

保育内容演習・表現	1年 前期	演習1単位	担当教員名	及川亜弥・庄司恵
	卒選 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ: 自分なりに表現する力を養う。 ② 目標: ・ 音楽的表現、造形的表現、身体的表現等の具体的な指導法や研究、環境づくり(教材用具等)を修得し、実践をと おして、場に生かした指導ができるように学習する。				
授業の概要 子どもは常に自分の思いや感じたこと、心の動きなどを自分なりに表現する。表現する経験を重ねることにより、イメージが膨らみ豊かな感性が育つようになる。そのためには、受け止めて共感できる保育者自身の感性を磨くことが求められる。 ここでは、保育者の子どもたちのさまざまな表現法に対する受け止め方、関わり方、年齢や発達の特徴に応じた働きかけなどを学ぶ。				

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	オリエンテーション	・ これからの講義について
2	手遊び・リズム遊び	・ 手遊び・リズム遊び
3		
4		
5	製作	・ 折り紙を使い、月の製作
6	製作	・ 折り紙を使い、月の製作
7	壁面づくり	・ 季節に合った壁面づくり
8		
9		
10	創作ダンス	・ グループでの創作ダンス
11	創作ダンス	・ グループでの創作ダンス
12	発表	・ 全員の前でダンスを発表
13	創作	・ ペープサート、パネルシアター等の製作
14	創作	・ ペープサート、パネルシアター等の製作
15	創作	・ ペープサート、パネルシアター等の製作
定期試験	実施しない	
テキスト	特になし	
参考図書	特になし	
教員の 評価方法	授業態度(40%)、提出物(30%)、制作した作品実技発表(30%)を総合的に評価する。	
準備学習等 履修上の留意点	・園児の制作した作品等から年齢や発達の特徴を学ぶこと ・保育の現場でいかせるもの(手遊び、製作等)を実践的に学ぶこと	